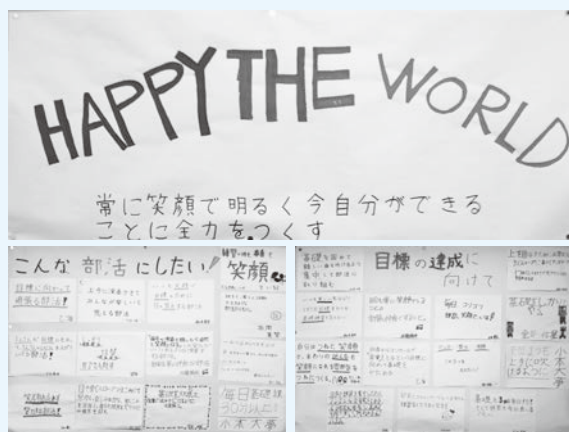




心と音色を一つに奏でる…

福島町立福島中学校 吹奏楽部

今回は福島町立福島中学校の吹奏楽部を代表して、部長の石岡 ^{いしおか} 乙海 ^{つぐみ}さん取材させていただきました。現在は女子7名、男子6名の計13名で活動しており、吹奏楽コンクールや各演奏会に向けて、日々生懸命練習しています。吹奏楽コンクールの函館地区大会まで残り2週間へと迫った取材当日、部員の皆さんは練習場所を同中学校音楽室から体育館へと移し、緊張感のある練習をしていました。（上写真は7月15日（日）に行われた『第13回サマーコンサートinほくと』演奏後の様子、前列中央が部長の石岡さん）



▲音楽室へ掲げられた部活動のスローガン等

問1. 福島中学校吹奏楽部は、どんな雰囲気の一部活動ですか？

「吹奏楽部」というと、女子が多くピリピリしている印象を持たれることが多くありますが、福島中学校吹奏楽部は笑顔あふれる、明るい雰囲気の一部活動です。
部員一人ひとりが元気で素直で、おもしろく、顧問の米本先生を含め、合奏中も笑顔が絶えません。
男子と女子両方が入部していますが、担当楽器が違う部員同士でもみんな仲良く笑顔で、一緒に音楽づくりをしようと、日々頑張っています。

問2. 現在の主な活動内容を教えてください！

放課後準備ができ次第、担当する楽器を持ち、パートごとに割り振られた教室で練習を始めます。基礎練習後に曲の練習を始め、合奏練習がある日は部員全員が音楽室へ集まり、合奏します。合奏中に音やタイミングがずれていた時は、先生や部員同士で指摘し合い、より良い演奏ができるよう何度も繰り返し練習します。

また、楽器をただ演奏するだけではなく、吹奏楽コンクール強豪校の演奏音源を聴き、気がついた良いところを自分たちの演奏へ取り入れています。

さらに、吹奏楽コンクールや演奏会等の行事が迫っている時は、土曜日と日曜日も1日中練習します。午前中は廊下のランニング、筋力トレーニングや柔軟体操をし、楽器を吹く上での体力や肺活量の向上を図ります。本番は広い会場で行っている合奏練習場所を、体育館や福祉センターへ移すこともあります。